

# 議 事 録

配布先	なし	主催	健康づくり推進課	No.
議事録名				
平成26年度第2回佐久市保健福祉審議会保健部会				
決裁	部長	次長	課長	係長
日時	平成27年2月18日		開催場所	議会棟第3委員会室
出席者	多田委員・宮地委員・甘利委員・武重委員・山崎敏明委員 山崎博委員・松本委員・柳澤委員・町田委員・猿谷委員 土屋委員 (欠席：花岡委員) 健康づくり推進課長・健康増進係長・保健予防係長・地域医療係長・口腔歯科保健係長・臼田支所健康づくり推進係長・健康増進係竹内管理栄養士・保健事業係長・保健事業係小林			出席 11名 委員 欠席 1名
				事務局 出席 9名
提出資料	佐久市保健福祉審議会保健部会次第 他			
(次第)				
1 開会				
(所管課長) 審議事項に入るまでの間、進行を務めさせていただきます。				
2 あいさつ				
(部会長)				
3 審議事項				
(1) 第二次佐久市健康づくり21計画について				
(部会長)				
それでは審議に入ります。審議事項(1)第二次佐久市健康づくり21計画についてアのアンケートの結果について事務局よりご説明をお願いします。				
ア アンケート結果				
(事務局)				
それでは、私の方からアのアンケート調査結果についてご説明させていただきます。市民アンケート調査の部分について説明させていただきます。資料No. 1-3をご覧ください。				
平成26年度健康づくり21計画策定に関する市民アンケート調査報告書でございます。表紙をめくっていただきまして、調査の目的や調査方法、有効回収、回収率を記載してございます。市民アンケート対象者の内訳でございますが、健診等受診する機会がなく、あまり声を聞くことができない20歳から39歳の市民を無作為抽出した303人と、40歳から74歳までの地域集団健診受診者、また結果報告会来庁者合計582人を若い世代と併せまして、885人から回収した結果を、長野県世論調査協会に委託し集計致しました。内容につきましては、時間の関係もございまして、かいつまんでご説明いたします。				
右側のページの回収サンプルの内訳をめぐっていただきまして、肥満及び痩せの状況につきましては、肥満者の割合は男性は40歳代が半数近く肥満という事になります。痩せにつきましては、若い年代に多く、全国と比較しますと佐久の方がやや肥満者が少なく、痩せが多くなっている状況でございます。				

## 議 事 録

続きまして、健康状態の問いにつきましては、日頃自分が健康、まあまあ健康と感じている、を併せますと88%が健康と回答しております。その中でも60歳以上の高齢者層は9割近く健康と認識しております。反面、35歳から39歳があまり健康でないと感じているが20%と、他の年代よりやや高い状況になっております。

1か月間に不満、悩み、ストレスがあったかについては、大いにある15%、多少ある50%とある人が65%に上がることがわかります。そのうち男性57%より、女性71%と14ポイントも女性が高い状況になっております。先ほどの自分の健康状態の中で、健康と感じている人88%のうち、不満や悩みを抱えているのは62%で、体と心の健康は必ずしも一致しないということになっております。

続きまして、睡眠と休養でございますが、休養をとっているかという問いに関しまして十分が31.5%、まあまあが50.8%を併せますと、82%がとれているという答えでした。休養がとれていない人につきましては、あまりが16%、全くと1%を併せまして17%でございます。そのうち特に、39歳以下の若い年代ではとれていないが30%前後で、とれている状態の中老年との違いがみられています。

次に定期的に継続して運動をしているかという問いに関しまして、しているが32%、していないが67%と習慣として運動しているのは3人に1人でした。若い年代に目立つのは、25歳から39歳が8割強、職業別で見ますと会社員・公務員が81%と運動をしていないという事になっております。

続きまして、歯や口の状態でございますが、気をつけていることは何ですかという問いに対しまして、歯みがきと答えたのが63%になっております。そして、歯みがきの回数につきましては一日2回がほぼ半数近い49%になっております。歯みがきにどのような器具を使用しているかという問いにつきましては、歯ブラシが88%を占めております。どのような場合に歯科医院に行きますか、という問いには治療を受けるためが8割で、歯科検診を受けるためが18%にとどまっています。

続きまして、食育への関心につきましては、関心がある、どちらかといえば関心があるを併せますと、75%と4人に3人が関心があります。ただ若い年代ほど関心がない傾向でございまして、20歳から24歳の42%をはじめ、30代までは30%を超えています。

佐久を味わう日でございますが、認知度が低く、知っている人が5%にとどまっております。これにつきましては、市民への浸透が課題と言えます。

主食・主菜・副菜がそろった食事を一日に何回とっていますか、という問いに関しましては、一日に3回以上が43%でございます。中でも3回以上とっているが、60歳以上で過半数、2回は30代から40代で、1回は20代で多い状況となっております。一方学生の3割近くがほとんどしていないという回答が得られました。

朝食を食べているかの問いに関しましては、ほとんど毎日とっているが87%に上りまして、これにつきましては高年齢で高く、60歳以上をみますと90%を超える結果となっております。

また、食べない理由としましては、食べないと答えた101人のうち、36%が食欲がないから、時間がないからと食べないことが習慣になっているから、が同率の34%となっております。この回答者の大半は、20歳から39歳で40歳以上の数字は少なくなっております。

続きまして、一週間に朝食と昼食を家族等誰かと食べた回数を問う質問でございますが、朝と夜の14回とっている数が半数に上っています。

みそ汁は一日何杯飲んでいるか問いに対しまして、一日1杯が38%、一日2杯が29%でございます。合計67%の方が一日1～2杯という結果になっております。

反面一日3杯以上食べる方は6%となっております。中でも70歳から74歳の方は、一日2杯が39%と高めの数字になっております。

汁物で工夫していることは何ですかという問いには、野菜など具たくさんが65%となっております。中でも女性の工夫が具たくさんで77%、薄味51%と高い数字になってございまして、これにつきましては、みそ汁を食べる回数が少なめと併せまして減塩及び野菜たっぷり運動の効果が表れているものと思われま。

## 議 事 録

続きまして喫煙についてですが、タバコを吸わないが63%、吸うが15%となっております。これは全国の割合と比較しますと、佐久市は低く健康の要因といえるのがわかりました。

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度につきましては、知らないと答えた方が全体で83%を占め、タバコを吸っている人でも言葉も意味も知っている人は12%にとどまっております。周知の必要があります。

最後に、食育や健康づくりに関する情報の入手方法ですが、60歳以上の高齢者をみますと市が発行する広報誌で3人に1人が情報を得ている結果になりました。反面、20歳から39歳ですが広報誌から情報を得ているのが2割に届かない状況になっております。30代から40代の子育て世代につきましては、学校や保育園のお知らせから情報入手しているのが高めになっております。内容につきましては以上になりますが、この結果から見えてきました課題を資料NO. 1-1、1-2のアンケート①に記載させていただいております。また、乳幼児健診や小学校中学校の保護者を対象に行った食育についてのアンケート結果につきましては、引き続き管理栄養士よりご説明いたします。

（事務局）

続きまして食育に関する市民アンケートの調査報告をさせていただきます。追加資料をご覧ください。こちらの食育に関するアンケートは、先ほど説明がありました市民アンケートの食育部分の質問を、子供に関しての質問に変更し、市内小学校5年生と中学校2年生の保護者と10月に行われた乳児健診、幼児健診を受診した保護者、参加者の方にアンケートを回答していただきました。有効回収数が1622人で79.6%でした。集計・分析は健康づくり推進課で行いました。

4か月10ヵ月健診につきまして主要事項のみご説明させていただきます。3ページの一日の食事バランス、朝食摂取状況ですが、こちらは対象児の状況ではなく、保護者の方の結果となっております。

次に、5ページの食育や健康づくりに関する情報をどのようなところで入手しているかという質問ですが、テレビや本等からの情報が多い傾向があります。続いてインターネットを通じて入手する方が41.4%いらっしゃいました。先ほどの市民アンケートの同項目ではインターネットと答えた方が19.1%でしたので、約2倍の方が情報源としていることがわかります。お子さんが小さく外に出る機会が少なくなるため、インターネットの需要も高くなっているのではないかと思います。

6ページをご覧ください。こちらは1歳6か月健診、3歳児健診を受けた方の保護者の方のアンケートになります。幼児の成長過程にあわせて、歯磨きや間食等の質問を追加しましたので、先ほどの乳児健診のアンケートとは全て設問が同じではありません。

6ページ中ほどの佐久を味わう日の認知度ですが、市民アンケートでは認知度がとても低い結果でしたが、こちらのアンケートでは18.8%の方が佐久を味わう日を知っており、先ほどのアンケートの3倍の方が認知している結果でした。

これは、保育園で佐久を味わう日に佐久鯉など佐久地域で採れた食材を使用するなどの取り組みが行われているため、認知度が少し高くなっているのかと思われます。

9ページをご覧ください。食品を購入する際、参考にしている食品表示はあるかという質問ですが、賞味期限、消費期限については市民アンケートでも多い結果になっておりますが、乳幼児健診では食品添加物や食品アレルギーの項目が多くなっております。もともとアレルギーを持つ子供が増えている現状もあり、食品を慎重に選んで購入している方が多いことがうかがえます。

11ページをご覧ください。こちらからは小学校5年生、中学校2年生の保護者を対象としたアンケートの集計を比較させていただきます。食育への関心度の質問を見ますと、どちらも関心がある、どちらかというに関心があるを併せると9割近い方が関心を持っているという結果が出ております。先ほどの市民アンケートと比較しますと、15%ほど関心のある方が多くなっております。やはり、子供の食事を通して、食育について関心を持つ方が多いのではないかと思います。

## 議 事 録

12ページをご覧ください。中央の朝食を食べる頻度のグラフを見ていただきますと、小学校5年生に比べて中学校2年生の方が、ほとんど毎日朝食を食べるという生徒が少なくなっています。朝食を食べない理由を見てみますと、中学生は食欲がないからと答えた割合が、小学生の割合より高くなっています。部活動や習い事によりどうしても夕食の時間が遅くなり、朝食を食べられない等生活リズムが変化することも理由の一つではないかと思われまます。中学校だけでなく、大人になっても朝食を食べる習慣が続くように、小学校のうちに習慣を身につけられるような食育をしていくことが課題と思われまます。

14ページをご覧ください。一週間のうち、朝食または夕食を家族と一緒に食べた回数を伺った質問です。比較してみますと約10%中学校2年生の方が、毎日2回ずつ計14回と答えた方が少なくなっており、7回以上の割合が高くなっています。生活リズムの変化と一緒に食べる回数が減ってしまっているのではないかと考察します。しかし、1回から6回の割合は市民アンケートと比べると少なく、朝食か夕食のどちらかは一緒に食べているという家族が多いことがうかがえます。

次に15ページの食事づくりのお手伝いの質問ですが、小学校5年生では週に2回から4回が最も多く、中学校2年生ではほとんどしないが最も多くなっています。手伝いの内容ですが、料理を運ぶ、後片付けをする等食事環境に関するお手伝いが多く、食事を作る場面での手伝いは中学生になると若干増加はしますが、全体的に少ないことがうかがえます。こちらのデータから、調理体験ができる場を提供していくことも課題かと思われまます。

最後に、16ページをご覧ください。食育や健康づくりに関する情報をどのようなところで入手しているかといった質問項目ですが、こちらも市民アンケートと比較しましても、子供を通した学校、保育園やスーパーマーケット等からの入手が多くなっています。アプローチしたい世代にあった情報の提供方法を考えることも、これからの課題かと思われまます。これで食育に関する市民アンケート調査の結果報告は以上になります。こちらも先程の市民アンケートと同様に資料NO. 1-1、評価・アンケート・新しい保健から見える佐久市の課題のアンケート②に記載してありますのでご覧ください。アンケート調査の結果報告は以上です。

(部会長)

只今事務局よりご説明がありました。なにか質問・意見がある方はいらっしゃいますか。

(委員)

佐久を味わう日が現在は認知度や理解度が低い状況で、これからどのような方向で高めていくか、今後のアプローチはありますか？

(事務局)

佐久を味わう日ですが、主に農政課で進めている事業であります。農政課と保育園で行っているのが主な事業になりますので、今後は農政課や子育て支援課だけでなく、様々な部署と連携しながら佐久を味わう日を進めていきたいと考えております。

(委員)

たくさんPRしてってください。

(部会長)

他に何かありますでしょうか。

佐久を味わう日というのはいつごろからやられているのでしょうか。

(事務局)

事業の関連の中では、連携をとりながら健康づくりの分野でも市民の方にアプローチは行っているのですが、いつから始まったのか、いつ定めたのかについては明確な答えができなくて申し訳ございません。次回の会議で回答させていただきます。農政課でも地産地消の推奨をしている中で、庁内や関係団体と推進しておりますので、そういった部分の前後あたりになるかと思われまます、正確な答えではございませんので、次回回答させていただきます。

## 議 事 録

(部会長)

非常にいい取り組みだと思います。小学校、中学校などの食材はほとんど地元産なのではないでしょうか。商店街などでも3日と9日は佐久の食材を安くするなど工夫すればよいのではないのでしょうか。

その他に何かありますでしょうか。では次に入りたいと思います。

イの各課の現状と課題及び今後の取組の方向性について事務局よりご説明をお願いします。

(事務局)

私の方からは資料NO. 2から5のご説明をさせていただきます。

まず資料NO. 2-1と2-2でございますが、2-1を左に置いていただいて2-2を右に置いていただいて、横断的ということで横に並べて見ていただくようになっております。こちらは21計画を策定するにあたりまして、庁内検討部会ということで庁内横断的に担当課を含みまして検討部会を実施しております。そういった中で、現在実施している事業の集約を行いました。資料NO. 2につきましては事業の集約ですが、資料NO. 3-1と3-2はこの事業を受けまして課題を集約したのになっていきますのでご承知ください。

まず、事業集約の部分でございますが、横軸に分野としまして国の第二次健康日本21計画の基本的方向性と目標項目と、前回の部会で説明させていただきました1番から5番の中の2番から4番が横軸となっております。1番の健康寿命の延伸と、健康格差の縮小につきましては、最終的な目標ということですので、2番から5番について、例えば生活習慣病の予防その横に生活習慣の改善及び社会環境の改善と記載してありますが、こちらは国の基本的方法と目標項目になっております。そして縦軸ですが、上から第二次健康日本21の国の計画、新しい保健の重点課題、そして各課で実際に取り組んでいる事業をまとめてございます。

資料NO. 3-1、3-2ですが、これは国の部分と新しい保健の部分は確保してありますが、健康づくり推進課においては、がん検診の受診率が低いという課題が見えてきております。そして、この事業集約と課題集約を受けまして、これから計画の策定案を作っていくと考えております。

資料NO. 4をご覧ください。こちらですが、計画がイメージできるように案を作成してみました。はじめに市長のあいさつが入ります。目次でございますが、章立てにしまして、第1章から第7章までの組み立てでございます。第1章では前回の保健部会で説明させていただきました概要を載せていく予定でございます。

第2章は、佐久市の概況と特性、第3章で一次計画の評価、今回中心になります第4章では、分野における現状と課題・施策の方向性、ライフステージにおける施策の展開という事で、5本の柱で記載していく予定でございます。5番目の食育の推進の部分ですが、今回食育計画も一緒に盛り込んだ形にしていきたいと思っておりますので、5で入れていきたいと思っております。第5章では今回の計画における目標の設定をまとめまして、第6章で計画の進行管理と評価、最後に資料という形で作成したいと思っております。

めくっていただいて、左はご説明した通りでございます。右の分野名、栄養・食生活というところでは、まず現状と課題を載せまして、次に今後の取組の方向性という風にまとめたいと考えております。このページを具体的にしたいものが、資料NO. 5でございます。こちらはまだ素案の状態ですが、このような形でしていきたいと思っております。

まず、こころの健康という部分がありましたら、現状と課題でございますが、文章、グラフ、図等でわかりやすくまとめていきます。右側は、チャンレンジ・サポートということで、みんなで取り組む健康づくりといったタイトルで、チャンレンジは市民自らの個人や家庭での取り組み、サポートは市や連携機関の取り組みの二本立てで記載する予定でございます。最後の目標と達成状況ですが、判定がしやすい数値で記載し、より客観的に評価しやすいような目標を設定していきたいと思っております。この素案につきましては、課全体、支所とともにプロジェクトチームを組まして協力して作成していく予定でございます。以上でございます。

## 議 事 録

(部会長)

ただいま事務局よりご説明がありました。なにかご質問・ご意見はありますでしょうか。それでは、私から質問させていただきますが、資料NO. 5のこころの健康の中で、この一か月間に不満、悩み、ストレスを感じることはありましたか、という質問で5年、10年前の状況はどうだったのかわかれば比較できると思いますが。

(事務局)

前回、一次計画におきましては市民アンケートを取っていませんので、比較ができませんが、前回の反省を踏まえまして、市民の皆様にアンケートをとらせていただき、二次計画に役立てていきたいと考えております。もし、市でとっているアンケートで引用できるものがありましたら、確認をしたいと思っております。

(部会長)

ありがとうございます。目標値として現在が65%で目標値が60%ということで、悩みや不安が深刻かどうかということが一番大切かとは思いますが、基本的にはこういうもので少なくしていくしかないように思われます。

(委員)

最後の資料の中で、チャレンジやサポートは結局これを行わないと仕方がないと思うのですが、チャレンジを呼びかける際にはそれができるサポートづくりがとても大切かと思えます。先ほどの佐久を味わう日でも、あちらも一年でここで作るだけでも違うと思いますので、例えば、今月の佐久を味わう日はこんな食材でこんな料理を楽しんでいるということ、広報などでPRしていき、佐久で生活していて今まで実施してきた良いことを誇りに思い実施していく仕組みづくりは、様々な連携をしなければいけないと思います。資料NO. 2や3で拾い上げていただいたので、そういった楽しい仕組みが必要だと感じました。

私もなぜ地域局で健康づくりで足育なのかとあっていて、そう感じている方が多く、県などのヘルスプロモーションをやってみると、子供の足から高齢者のためのフットケアが大切だと言われてますので、あの事業がどこへ向かうのか気になってます。

やはり、食育でも足育でも眠育でも、赤ちゃんから高齢者まで続いていることなので、サポートのところに市の取り組みを記載し、市民の方がさすが佐久市だと思えるような手伝いをさせていただくとありがたいです。

(部会長)

大変に貴重なご意見だと思いますので、ぜひ取り入れていただきたいと思えます。

(委員)

素朴な質問ですが、資料NO. 5のライフステージとありますが、こちらの言葉は馴染んでいると捉えてよろしいでしょうか。特に抵抗はないのですが。

(事務局)

あまり馴染んでいないようであれば、注釈を付けながら、多くの方がとらえやすいようにしてまいりたいと思えます。

(委員)

ゲートキーパーは注釈がありますね。

(事務局)

はい。この様な形で最初の部分で付けたいと思えます。

(部会長)

他に何かございますでしょうか。ないようでございますので、次にウの今後のスケジュールについて事務局よりご説明をお願いします。

## 議 事 録

(事務局)

資料NO. 6のご説明をさせていただきます。前回の保健部会でお示しをしました、スケジュールから若干変更点があります。年度初めに佐久市型情報公開に基づきまずパブリックコメントを行う予定でしたが、この計画策定にあたりましては、素案ができた段階で行うということから見直しを行ったところでございます。今後につきましては、各課の事業に対する取り組みの方向性を把握、とりまとめを行いまして、素案を策定してまいります。予定では5月に素案ができた段階で、保健部会を開催いたしまして、その後庁内の委員会を経まして、8月には佐久市型情報公開に基づくパブリックコメントを行い、10月の保健部会でご説明していくという流れでございます。その後保健福祉審議会におきまして、答申していく予定でございます。また、この間におきましても、素案の進捗状況におきましては保健部会を行っていくこともあろうかと思っておりますので、ご承知おきください。

### 4 その他

(部会長)

ありがとうございます。只今事務局よりご説明がありましたが何かご質問・ご意見等はございますか。無いようですのでその他に入ります。委員の皆様からなにかございますでしょうか。無いようですので、事務局からなにかございますか。

(事務局)

ございません。

### 5 閉会

(部会長)

それでは、本日の保健部会の審議事項は全て終了とさせていただきます。ありがとうございました。